

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

### ★羅針盤

**鉄スクラップ** → 考察) 11月の東京製鉄宇都宮特級価格は27,500円/tでスタートし、5日に500円/t下げたものの様子見が続く、月末には1,000円/t上昇し、28,000円/tとなりました。これは、輸出価格が上げた為国内の電炉・高炉が上げたと思われます。市中のスクラップが少なく、12月は多少の上げが期待できるでしょう。

**銅** → 考察) 欧州債務問題に世界が揺れ、相場が乱高下しています。11月は、LME7,900ドル/t、国内銅建値670,000円/tでスタートしたものの、11月中旬から落ち始め一時はどうなるのか先行き不安になりましたが、なんとか月末に上げ始め29日時点では、7,400ドル/tまで戻しました。銅建値も600,000円/t。LMEの在庫が減少していることから、12月は上がると思われませんが、世界情勢によりまだまだ不安が残ります。

**アルミ** → 考察) LME2,180ドル/tスタートし、29日時点では、多少下がったものの2,030ドル/tとほぼ変わりませんでした。新塊の価格がまだまだ安い為、12月は、11月同様横ばいと思われれます。

**プラスチック** → 考察) 原油が上がったものの、巷間のプラは上がりません。10月に下落してから戻らないのが現状です。12月は横ばいでしょ。

#### 11月予測の自己評価

鉄スクラップ ×    アルミ    ○  
銅                    ○                    プラスチック ○

## 鉄・非鉄スクラップ・市況からの12月予測

営業部 Y の考察



### ★羅針盤

## 静脈産業と資源循環政策の変化

東北大学 准教授 劉 庭秀

主に天然資源を加工して有用物質や製品を生産する産業を動物の循環系に比喩して動脈産業と呼ぶことに対して、これらの産業が排出した不要物か廃棄物を集めて、これらを物質循環系に再投入する産業を静脈産業という。静脈産業は廃棄物のリサイクル、適正処理のために重要な役割を果たしてきたにもかかわらず、社会的に暗いイメージがわいたり、明確な基準にもとづいた情報管理が行われなかったりすることも事実である。

そもそも当初の廃棄物政策は廃棄物の衛生処理と減容化が主な目的であり、これらの目的を達成するためには焼却処理が最も効率的な方法であった。しかし、天然資源の価格上昇と供給不足が原因で、今まで捨てられてきた廃棄物資源にも注目することになった。

当初、日本のリサイクル政策は国内循環を前提に施行したが、この方針が人件費上昇や国際的な市場経済の原則までを変えることはできなかった。結局、安い人件費を武器とする中国が国際的な資源循環市場をリードすることとなったのである。実際、環境省は2020年頃までにアジアにおける静脈産業の市場規模が約7兆円に達すると予測しており、世界の資源循環は中国をはじめ、新興工業国が主導していくと言っても過言ではない。

最近、静脈産業の主なトピックは地球温暖化、都市鉱山、見える化に集約できる。鉄鋼業界は地球温暖化対策(二酸化炭素の排出減少)の一環として鉄スクラップの利用を増やしている。一方、中国はレアメタルやレアアースの輸出を制限しており、スクラップからこれらの資源を抽出して再利用する技術開発と関連政策整備が急がれている。また、小型家電リサイクル推進の一環で、被災地での再資源化を支援(政府が輸送費負担)しようとする動きもある。さらに、環境影響と経済性のデータを積極的に公表するなど、数値化を通して静脈産業の透明化と効率向上を目指している。

東日本大震災によって大量に発生した災害廃棄物を一日でも早く片付けるため、大規模な焼却処理が始まっている。今後3年間にわたる災害廃棄物の処理は、単純焼却が中心となるが、焼却処理に先立ってどのように資源の選別と再資源化が行われるかについては疑問が残る。震災前に、地球環境問題の解決と資源の有効利用のために様々な議論や試みがあったにも関わらず、震災廃棄物の処理が今後の静脈産業の方向性と資源循環政策の基本方針に悪い影響を与えるのではないかと、危惧の念を抱かざるを得ない。しかし、長引く不況、スクラップ発生減少、東日本大震災の影響など、厳しい状況の中、震災前後の変化から新しい可能性を見いだせるのは静脈産業かも知れない。

### 京浜島日記

#### (第10回)

今年も残すところあと1カ月となりました。天災の多い1年となりましたが、皆さんはどのような年だったのでしょうか？ 私たちにとっても今年はたくさんの良い事も悪い事もありました。乱高下の多い年になったのは、大震災や原発事故の影響でもあります。混沌とした時代に生き抜くには、自らの強い信念を持ち貫く強さが必要になります。

私は、今年は少し古典を読むように心がけました。元外務官僚の佐藤優氏がいう「古典でしか世界は読めない」という事をそのまま受け取り、実行しております。「論語」(孔子)、「君主論」(マキャベッリ)、「古事記」、「自助論」(サミュエルスマイルズ)等を読んでみました。他にも「アメリカ近代史」「日本史入門」等歴史物を読むようにしています。

これらが自己形成にどのような影響を及ぼすか全くわかりませんが、本日時点では何か自分が変わったかといえば、全く自己変革の意識などもありません。安岡正篤氏は「論語読みの論語知らず」と言っていますが、私などは「知らず」どころか、読んだ先から忘れていくので、自分が嫌になります。何回読んでも覚えられないというのは、自分の能力の無さなのか、そういう道徳的な素養が私には無いのか、又はそのどちらものかも知れません。

というように意味があるのかないのか判らない古典の読書ですが、来年も続けていこうと思っています。古くから続き、今に残されているものはそれなりに良いのだろうという事、古人の知を少しでも感じられるという事は、我々のような商売に直面している者にとって必要な時間だと思うからです。まだ1カ月ありますが、では皆さん良いお年を！

福田 隆(代表取締役)

### ★羅針盤雑学

## 家庭でできる地震対策を考えましょう

3月11日のような大震災は、またいつ来るかわかりません。特に冬期は、暖房器具等の火を伴う家具もあります。お正月はのんびりもいいですが、整理整頓が緊急時に命を助けることにつながります。今一度身の回りを見直す時間を作りましょう。

1. 家具の転倒防止を。
2. 火の始末(ストーブは自動消火装置付を使用しましょう)
3. 脱出口の確保を。
4. 緊急時、家族また職場内での連絡の仕方を決めておきましょう